

林野庁 近畿中国森林管理局

箕面森林環境保全ふれあいセンター・こだま通信

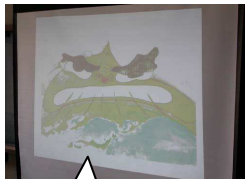
箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

フォトコンテスト入選作品・応募作品の展示会を次々開催！ ～京都市、大阪市で、身近な森(里山)フォトコンテスト入選作品・応募作品を展示～

1月5日(金)～1月31日(水)、近畿農政局1階「消費者の部屋」(京都市)において、「身近な森(里山)フォトコンテスト」の入選作品(全13作品)と木工作品の展示を行いました。

また、2月5日(月)～3月15日(木)まで、近畿中国森林管理局1階展示ギャラリー(大阪市)において、入選作品を含む全応募作品(全206作品)を展示しているほか、3月15日(木)～4月13日(金)まで、桜の季節を迎え多くの花見客の来訪が期待される、大阪アメニティパーク(OAP:大阪市北区天満橋)2階ロビーにおいて、入選作品の展示を予定しています。

近畿農政局の展示では、最優秀賞の入賞者が長野県から京都市まで来訪されるなど、各地の展示は入賞者にとっても嬉しいことであるとともに、多くの人々に本取組の普及を図っていくことが重要であり、今後とも、各地での展示に取り組んでいきます。



ガスラー

「地球温暖化防止」を子ども達へ伝えよう！ ～京都市立清水小学校で紙芝居等の森林教室を開催～

1月12日(金)、京都市立清水小学校において、NPO 法人地球緑化センター、京都大阪森林管理事務所、当ふれあいセンター連携のもと、小学5、6年生を対象として地球温暖化防止にポイントをおいた森林教室を行いました。

地球緑化センターのボランティアの方々より、森林の地球温暖化防止機能をわかりやすく伝える紙芝居「ガスラー」の上演や、学校内にある樹木について樹高や直径を測り炭素の固定量を算出するプログラムが行われました。

また、光合成のことを習っていない子ども達も、地球温暖化のこと、それを防止するための森づくり等の取組の大切さを知り、「1本の木に自分の体重以上のCO₂が入っているとは思わなかった」、「木がなければ死んでるかもしれない。だから木には感謝していかなければならないと思った」などの感想が聞かれました。



伊崎のカワウ対策方針最終取りまとめへ ～平成18年度第2回カワウWG会合開催～

1月24日(水)、第2回カワウワーキンググループ会合(滋賀森林管理署会議室)を開催しました。今回の会合では、平成18年度森林影響調査の経過や滋賀県生息数調査結果の報告、18年度事業の進捗状況の確認を行ったほか、これまで検討してきた伊崎国有林の取扱い方針について、カワウ追い払い手段としての銃器捕獲のあり方等、滋賀県を交えて踏み込んだ意見交換をしました。また、滋賀県が18年度中に策定する「滋賀県カワウ総合対策計画」の案について、伊崎国有林における取組の位置づけ方等、滋賀県全体のカワウ対策のあり方も視野に入れ、活発な意見交換を行いました。



林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター

TEL:075-414-9049 / FAX:075-414-9029 URL:<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp>

〒602-8054 京都市上京区西洞院通り下長者町下ル 京都農林水産総合庁舎1F



国民の森林・国有林